

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業			シート番号	A 一般事務事業 08-42
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸 課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、登録機運の醸成と来訪者の古墳群への理解の促進、満足度向上のため、博物館古代常設展示を更新するとともに、登録年と前後のあわせて3年にわたり企画展・特別展を開催する事業として実施することになった。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	本市への来訪者及び市民		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	世界文化遺産登録を見据え、登録機運を醸成するとともに、来訪者の古墳群への理解の促進をはかり満足度を向上させる。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>①常設展示更新 平成30年度、百舌鳥古墳群関連の展示について、世界文化遺産の構成資産となっている巨大古墳の展示が少ない現状を改善するため、文化財課の発掘調査成果の蓄積を活かすとともに宮内庁の協力を得て、展示対象古墳を追加するとともに近年発掘調査で出土した実物資料を数多く展示した。更新の範囲は常設展示場の古墳関連部分すべてを対象として委託業務で実施した。</p> <p>②企画展・特別展の開催 登録年と前後のあわせて3年にわたり百舌鳥古墳群とその時代に関連する企画展・特別展を開催する。平成30年度は企画展「堺に薫がやってきた—古墳時代・やきもの技術革新—」を開催し、平成31年度は「百舌鳥古墳群—巨大墓の時代—」と題し、各地の古墳群と百舌鳥古墳群を比較して古墳の謎に迫る特別展を開催する。平成32年度は世界の巨大墳墓から、百舌鳥古墳群を考える特別展を開催する。</p>		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		委託業務の受注者			

Ⅲ. 投入量

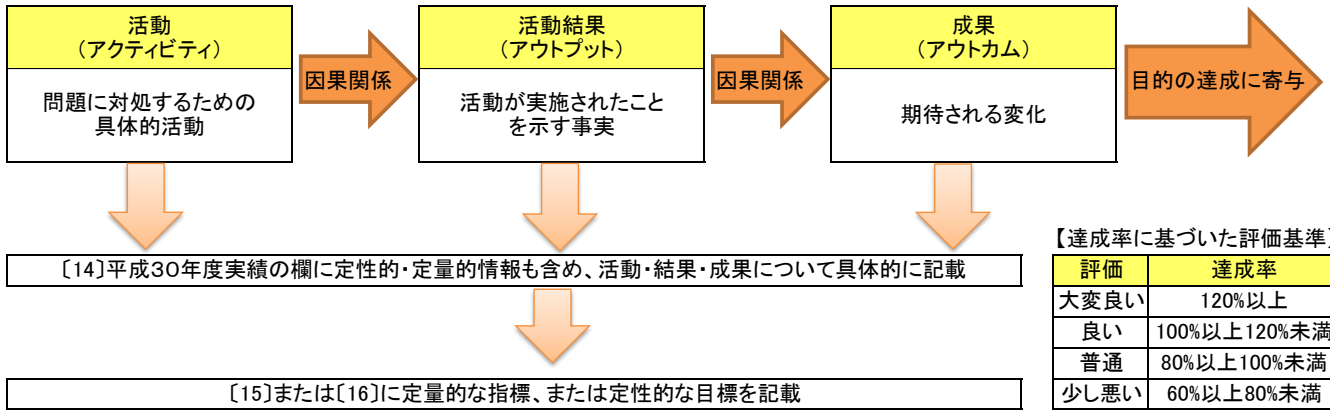
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	0	0	11,169	16,755	
主な事業費内訳	委託料	千円		10,284	14,680	
	旅費	千円		835	1,700	
	報償費	千円		50	120	
		千円				
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円			149	3,268
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円					
市債	千円					
その他(基金繰入金)	千円			5,100	1,000	
一般財源	千円			5,920	12,487	
12 人件費 (b)	千円	0	0	9,040	14,640	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	20,209	31,395	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	世界文化遺産登録に向けた博物館展示事業	シート番号	08-42
-------	---------------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>○古代常設展示更新(5~8月)</p> <p>○企画展「堺に窯がやってきた！ー古墳時代・やきものの技術革新ー」 7/14~9/24</p> <p>○令和元年度・2年度の特別展関連調査</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		観覧者満足度	%	目標値			80	90
				実績値			100	
				達成率			125%	
	評価				大変良い			
	算出方法・設定根拠など		アンケート					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		観覧者数(1日あたり)	人	目標値			250	300
				実績値			227	
達成率						91%		
評価				普通				
算出方法・設定根拠など		観覧者実数						

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>○百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けて、人々の関心が高まる中、古代常設展示コーナーのリニューアルと企画展も無事終了し好評であった。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。